

平成27年度 三条市社会科部 活動報告

部長 坪谷 秀雄

1 研究主題

子どもが社会的事象への興味関心を高め、意欲的に追求する社会科授業の充実

2 研究の概要

○三条市「農」「食」ミニ講座

- ・活動名 農機具製造工場及び展示場の見学
- ・見学先 株式会社井関新潟製造所

〒955-0033 三条市西大崎 3-12-23 0256-38-5311

- ・見学先について

井関新潟製造所は、昭和37年（1962年）に、新潟県三条工場誘致条例第1号社として操業を開始した。主に田植機、籾すり機、野菜移植機等を製造している。社会科見学を積極的に受け入れていて、「溶接」「機械加工」「塗装」「組立」等の製造技術や混合生産の仕組み等を学ぶことができる。

また、安全と環境に配慮した活動の一環として、エネルギー使用量の改善や廃棄物の削減とリサイクル等の「カイゼン」活動を行っているほか、高い技術力を誇る地域産業と連携を図り、さらなる品質向上に向けた取組を行っている会社である。

井関グループが創立90周年を迎えるにあたり、井関新潟製造所内に展示館「ISEKI Dream Galery NIIGATA」を開設したことから、今年度の研修先として選定した。

3 研究の実際

「地域素材の教材化」という視点で、コロナ（暖房機製造）や野島製作所（自動車部品製造）、あるいはタダフサ（包丁製造）など、これまでも三条市内における見学先の開拓を行ってきた。井関新潟製造所も、田植機や稲刈り機などの耕作機械を製造する会社で、地域に密着した事業を展開している。今回は5年生の工業・農業単元に直結する研修先になった。



【製造工程の見学】

新しく開設された展示場には、プロジェクションマッピングを使ったシアターやCGを活用して田植えを疑似体験するコーナー、食の大切さを発信する地産地消コーナーなどがあり、授業づくりを充実させるヒントを得ることができた。



【新展示場での説明】

社会科部会としての研修であったが、総合的な学習の時間における米作りや食育などについての見学先としても広がり期待できる。



【CGでの田植え疑似体験】

4 成果と課題

- (1) 今年度は10月に行われる小中一貫全国サミットの関係で、第1回研修のみの開催であった。研修内容を検討していたところ、井関新潟製造所が新たな展示場を開設したタイミングと合致した。地域教材の開拓という視点から、今回のようにタイムリーな施設を研修の場として用意できたことは、大変価値があった。
- (2) 近年、社会部の授業研修が高学年（5年生）に偏っていることから、来年度は中学年での研修を通して、具体的な三条市の土地利用やものづくりを学び合うことができればよいと考えている。